

シドニー日本クラブニュースレター

JCSだより

PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 Phone 0421-776-052 Email jcs@japanclubofsydney.org

シドニー日本クラブ(JCS)は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。



- 3 JCS 7・8月の行事予定
- 4 コミュニティーネット「シニアのおしゃべりサロン」
- 8 親睦の会だより「新型栄養失調について」
- 9 お知らせ「レインボーキッズがやってくる」
- 10 JCS日本語学校だより
- 13 「教育よしなしごと」⑧
- 15 カウラユースツアーのご案内
- 16 江戸めがね「相撲見物」
- 19 バイキーおばちゃんの旅日記⑭【最終回】
- 20 Let's アート「能・狂言展」
- 25 和子の愚駄話し「リーテルセラピー」

片恋

うつむいて美しく楚々と咲いているシクラメンを見ると、いつも片思いの恋の切なさを思い出します。

(小崎洋美)

www.japanclubofsydney.org

編集から

投稿原稿募集!

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載

を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「探し物」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

読者から

読者の声募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構い

ません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。

また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。

お気軽にお寄せください。

投稿先は、Email: hbma@optusnet.com.au まで。

※内容や文字数など、編集上の決まりによって、要約したり、場合によっては掲載を見合わせる場合があります。

MOSAIC Japanese Social Group

モザイクにおける生活情報セミナー

ウィロビー市役所の組織「MOSAIC」では、年に4回、聞いてお得な日本語によるオーストラリア生活情報セミナーを無料で行なっています。

<講義の内容>

第1回:口腔内のケア・サービスについて

(終了しました)

第2回:聴覚&視覚と盲導犬について

(終了しました)

第3回:痛みのマネージメントについて

日時:7月16日(水曜日)1:00pm~2:00pm

第4回:転倒の予防について

日時:9月

いずれも会場は、チャツウツのモザイクセンターの2階で行われます。

住所:12 Brown Street, Chatswood(駅より歩いて3分)

ご興味のある方は、下記の番号までお問い合わせ下さい。

①モザイク・マルチカルチャー・センター

電話:9777-7952(月曜日の午後は日本語対応可)

メール:mosaic@willoughby.nsw.gov.au

②日本人グループ代表者:宮下義夫

電話:9417-6715

メール:miyashitayoshio@gmail.com

7~8月の予定(場所略字 M:メインルーム、G:グループルーム)

7月2日(水)	11:30-1:00	朗読 Reading	G
7月4日(金)	1:30-3:00	*折り紙 Origami	M
7月9日(水)	11:30-1:00	瞑想 Meditation	G
7月11日(金)	1:30-3:30	*コーラス Choir	M
7月16日(水)	10:30-1:00	料理 Cooking	M
7月16日(水)	11:30-1:00	朗読 Reading	G
7月18日(金)	1:30-3:00	*折り紙 Origami	M
7月23日(水)	11:30-1:00	瞑想 Meditation	G
7月25日(金)	1:30-3:30	*コーラス Choir	M
8月6日(水)	11:30-1:00	朗読 Reading	G
8月8日(金)	1:30-3:00	*折り紙 Origami	M
8月13日(水)	11:30-1:00	瞑想 Meditation	G
8月13日(水)	1:00-2:30	スマホ勉強会	M
8月20日(水)	11:30-1:00	朗読 Reading	G
8月22日(金)	1:30-3:00	*折り紙 Origami	M
8月27日(水)	11:30-1:00	瞑想 Meditation	G
8月29日(金)	1:30-3:30	*コーラス Choir	M

参加申込:原則無料ですが、日本料理とアウティングは、予約と実費支払が必要です。また、折り紙とコーラスは毎回、各人が\$2をMOSAICに納めてください。

受付:宮下義夫:Tel: 9417-6715 Mobile: 0410-541-150

※折り紙とコーラス受付:MOSAIC(9777-7952) Kim

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードして楽しみください。

www.japanclubofsydney.org

JCS年間行事予定

月	会全体	親睦の会	コミュニティーネット	City校	Dundas校	その他イベント
7月	理事会(2日) 本誌発行(7日) フェイト(12日)	フェイト参加(12日)	わいわいサロン最終回、 シニアのおしゃべり サロン(23日)	始業式、保護者会 (19日)	始業式、保護者会 (19日)、 TC会議(26日)	女性のための健康セミナー(3日)
8月	理事会(6日) 本誌発行(4日) 年次総会(16日)	例会(16日)		TC会議(2日) 校内 スピコン予選(9日) 本選(23日)	椋山女学園来校 (9日、16日、23日)	カウラ70周年記念慰霊祭(4・5日)



7月12日(土)JCSフェイト開催

恒例の「JCSフェイト」を開催します！お誘い合わせの上、お集まり下さい。
日時:7月12日(土)11:00~15:00 場所:Auburn Community Picnic Area

※入り口はKilleen Street, Auburnです。

老若男女、みんなが楽しめる企画が盛り沢山です。ビンゴやゲーム、綱引きや玉入れ…、
美味しい食べ物屋台も出店します。どうぞお楽しみに！

- *ソーセージズル、たこ焼き、JCS日本語学校による食べ物屋台
やアクティビティ、お茶会など
- *こねこねランド、輪投げ、タトゥ、フェイスペインティング
- *綱引き、玉入れ、紙芝居、折り紙、日本語学校校歌斉唱、ソーラン
踊り隊の演舞など
- *ビンゴ大会では豪華賞品がたくさん
- *クリスタルやハンドメイドグッズとDVDなどの販売
- *パステルアートのミニクラス
- *和風ジュエリー、手作りアクセサリ、和小物など

時間(予定)	イベント名
11.00	開会の挨拶
12.00-12.20	ラジオ体操
12.20-12.30	日本語学校校歌斉唱
12.30-13.00	紙芝居
13.00-13.30	玉入れ競争(低学年、高学年)
13.30-13.50	綱引き(低学年、高学年、大人)
13.50-14.20	エプロンシアター・パネルシアター
14.20-14.50	ビンゴ大会
14.50-15.00	よさこいソーラン
15.00	閉会の辞



シドニー日本クラブ年次総会8月16日(土)開催

日時:8月16日(土)14時20分~15時

場所:Dougherty Community Centre, 7 Victor Street, Chatswood

2014/15年度の年次総会は、8月16日(土)、親睦の会の会場で開催します。

是非、会員のみなさまのご出席をお願いいたします。

欠席される方は事前に委任状の提出をお願い致します。(委任状は8月号に同封します。)

年次総会では、JCSの事業報告と事業計画、決算報告と予算(案)、会則の改正などを審議します。

総会資料は、本誌8月号とJCSのサイトに掲載しますので、必ず目を通されるようお願い致します。

シドニー日本クラブ2014/15年度年次総会式次第

日時:2014年8月16日(土)午後14時20分~

場所:The Dougherty Community Centre

議案:

- 第1号議案 2013/14年度事業報告
- 第2号議案 2013/14年度収支決算報告
- 第3号議案 会長退任による新会長の承認
- 第4号議案 会則の改正及び承認
- 第5号議案 2014/15年度事業計画(案)
- 第6号議案 2014/15年度予算(案)

質疑応答

会長挨拶



昨年の年次総会の模様



「チェサロン デイ・サービス」7月23日(水)

ロンガヴィルの閑静な住宅街にある、65歳以上の日系の方を対象とした「シニアのためのサロン」です。チャツウッドからの送迎バスに加え、センター近くの方にはご自宅への送迎が可能です(事前にお問い合わせ下さい)。初回のみ登録のための用紙記入が必要となります。人数に制限がありますので、継続参加が可能な方歓迎です。お試し参加可能(有料)。(事前申し込み必須。キャンセルは2日前までをお願いします。)

日時: 7月23日(毎月第4水曜日開催) 午前10時30分~午後2時30分

会場: チェサロン・アングリケア・デイセンター(ロンガヴィル)Christina & Arabella Streetの角, Longueville

無料送迎バス: モザイク前(MOSAIC, 12 Brown Street, Chatswood)午前10時出発(時間厳守)

参加費: \$ 15(和食弁当、お茶菓子含む)

活動内容: ちぎり絵、スケッチ、編み物、歌、脳トレーニングゲーム、習字、タイチ等

申込先: コミュニティーネット jcscommunitynet@gmail.com ピーコック京子 ☎9869-1972



わいわいサロン: 7月12日(土) 今月で最終回!

6月は恒例、向井津意子さんのタイチの後、ゴスフォードで人気のマッサージセラピスト、杉森しょうじさんに「姿勢が変われば、人生が変わる」と題して色々お話いただき大盛況でした。それぞれの姿勢をチェックしていただいたり、簡単なエクササイズを教えていただいたりと、大変ためになるセッションでした。

また6月は、いつも私達がお世話になっているオーストラリア社会への貢献ということで、Cancer Council主催のAustralia's Biggest Morning Teaの募金を行いました。ガンのリサーチやサポート等の活動資金のために、皆様の温かいご協力のお陰で\$245もの募金が集まりました。どうもありがとうございました。

ところで4年ほどの間、たくさんの皆さんにご参加いただいていたわいわいサロン。長い間、皆様と触れ合う憩いの場となっていました。様々な状況の変化から、残念ながら7月で最終回となりました。長い間サポートしてくださった方々にこの場を借りて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。色々どうもありがとうございました。

7月は最後の会として、恒例のタイチで汗を流した後、皆様と一緒に過去の会を振り返りながら、気ままに歓談をさせていただきたいと思えます。

13:00 向井津意子さんのタイチ

(動きやすい服装と靴でお出かけください)

14:00~ティータイム: 歓談

日時: 7月12日(土)午後1時~4時

会場: MOSAIC Centre (12 Brown Street, Chatswood)

参加費: \$5(アフタヌーンティー込み)

問い合わせ: コミュニティーネット ☎0423-037-180

ピーコック京子 ☎9869-1972

Email: jcscommunityset@gmail.com

お誘い合わせの上、どうぞご参加ください。ご参加の際は、ご連絡をお願いします。

転ばぬ先の杖セミナー: 次回は、9月に開催!

多文化コミュニティ相談サービスとJCSコミュニティーネットが65歳以上のシニアと介護者を対象として開催する分かり易い内容のセミナーです。詳細は追って8月号に掲載いたします。どうぞお楽しみに!

日本語対応「もしもし電話窓口」0423-037-180

オーストラリア連邦そして州政府による福祉機関でどのようなサービスが受けられるのか、また高齢者としてどのような選択があるのかをお調べすることができます。例えば、芝刈り、認知症についてのデイケアなどのサービス、買い物の付き添い、シーツの洗濯やシャワーのお手伝いなど、毎日の生活に不自由を感じてきたらお気軽にお電話ください。なお、ご案内は日本語ですが、サービスはいずれも基本的に英語となります。どうぞお気軽にご利用ください。

2014年6月度 理事会議事録

日時: 6月4日(水)、19時～21時30分 場所: Dougherty Community Centre
 出席: チョーカー和子、水越有史郎、岩佐いずみ、小林首席領事、水野相談役、渡部重信、林さゆり、プレーザー悦子、コストロ久恵、山崎美砂、パーマー智里、唐原晶子
 (コミュニティネット: リンカン瑞枝、佐藤薫)
 欠席: 多田将祐、新開珠貴、山田朝子、平野由紀子
 (敬称略、順不同)

1. コミュニティーネットの活動報告

1983年の創設時の経緯を説明。当時、孤立傾向にあった日本人のためのコミュニティをと寄付金を集めてケアネットを創設。現在の資金を日本人向け福祉ケアに使っていききたい。これまでセミナー一年4回開催(今回は9月)、65歳以上を対象にケアが目的のアングリケアが創設され活動を行ってきた。これらは軌道にのり、別組織の下で継続される。今後は実状3人での活動となり、縮小せざるを得ず、若者を対象とした“もしもしでんわ”を中心に活動を行う意向。若者が抱える問題は、風俗、ホームレス、自殺、トラブルに巻き込まれる等がある。このサポートを中心に傾聴サービス、該当機関への仲介、シングルマザー、障害者を持つ親へのサポートなどを含み、今後は同じくJCS傘下で活動していく。今後10年を目安に、これまでの基金を充当していきたい。

【理事会での意見】 人員確保のため宣伝方法を広げていく。LNSCTの中でのサービス、カルド等、他の団体と活動を共にしていくのはどうか? 若者対象のセミナーや情報提供を開催したり、JCSを利用して今後の活動を維持していったらどうか。

2. ダングス校から

前代表の山崎美砂さんから任期終了の挨拶に続き、新任教務担当のパーマー智里さんの紹介があった。

3. 女性のための健康セミナー

7月3日開催。St. Leonards RNSH近くのコミュニティーセンターにて、専門家による日本人女性のための健康セミナーを開催(通訳付)。個別に検診の予約受付可(通訳付)。対象は50歳以上、入場無料。次回のセミナーは未定だが、パラマツタ周辺で行うことを検討中。

4. JCSの非課税団体への申請

JCSの会計処理担当の鳥居会計士に委託して、申請を行なうことが承認された。

5. 年次総会の議案について

JCSの年次総会は8月16日(土)14:20～、Chatswood Dougherty Centreにて開催。

事業報告、事業計画案、決算報告、予算案、会長退任等が議案となる予定。委任状は本誌8月号に同封(メールでも受付可)。学校、親睦の会には事前に配布予定。事業報告と事業計画は7月、会計報告は8月になる。

6. JCSフェイト

7月12日(土)11時～3時、Auburn Community Picnic Areaにて開催。

屋根があるため、天候が悪くても決行。親睦の会のバス利用者は現在12名。6月例会までに人数を確定し、余裕があれば5ドルにて乗車希望を募集(要予約)。お茶会、イベントスケジュール、担当など詳細を決定。ビンゴ賞品の寄贈を引き続き依頼する。ビンゴは1枚2ドル。Jumping Castleを借りて実施する案が出たが、子どもの数が十分ではない、危険があるなどで行わないことに決定。シティ校がエプロンシアター、パネルシアターを催す。

7. ウィロビー・スプリングフェスティバル

Willoughby Spring Festival 9月6日(土)9:30～11:30
 ソーラン踊り隊、親睦の会がパレード参加申込済。参加者には、事前に所属のグループを決定しておくよう促す必要がある。

8. 事務局担当者募集、および業務について

現事務局長が諸事情により12月から業務遂行が不可能となるため、事務局業務の引継ぎが必要となる旨の報告がされた。今後、新しい人を募集する。

9. 東北福祉大学(仙台)16名来豪

8月4日～24日。語学研修&文化交流のためシドニー大学で英語クラスを受講予定。その際に文化交流の機会を持ちたい。ノースシドニーガールズハイスクールからの申出により決定。UTSからも連絡をとりたいとの申出あり。

10. カウラバスツアーの申込み

バスツアーのパンフレットが作成される。説明板寄贈の件、デザイン案が進行中。

11. ハーグ条約のセミナー案

外国人と結婚して、その後離婚し帰国した場合、子どもの連れ去りを防ぐため、国際的な取り決めのハーグ条約がある。この条約の説明会を検討中。9月を予定。グラントも要検討。7月理事会で詳細決定する。

12. 報告

- * シティ校でスピーチコンテストを開催 8月23日(土)。
- * カウラバスツアー 8月3日(日)。7月号にて告知。

9. 会員数・会計報告

総世帯数: 302世帯(JCS127世帯、シティ校118世帯、ダングス校57世帯)
 会計報告: \$1,632.83 (当座預金5月31日現在)

※次回の理事会は、7月2日(水)午後7時より
 Dougherty Community Centreにて開催。

親睦の会 だより

皆さんの地区幹事

- ・A地区 (North Sydney以南) : 有泉浩子 (Tel: 9436-4159)
Email: hirokoarizumi@iprimus.com.au
- ・B地区 (Chatswood以东) : 宮下義夫 (Tel: 9417-6715)
Email: miyashitayoshio@gmail.com
- ・C地区 (St. Ives以北) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumiko@pacific.net.au

親睦の会役員

会長 林さゆり 副会長 斉藤美章 事務局長 有泉浩子 会計 宮下義夫 会計監査 リヒター幸子
ボランティア: 岸美枝子、清水和美、橋本克子、村田智富子、鷲頭富江(五十音順)

【会員募集】 会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、昼食を食べながらの情報交換、様々なテーマで講師をお招きするなど、毎月趣向を凝らした内容が盛り沢山。現在約90名の会員がいます。JCS会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

【2014年7月例会のお知らせ】

親睦の会、JCSフェイトに出店

ドガティセンターより会場までの送迎バスを用意しました。未だ席に若干の余裕がありますので、利用なされたい方は、林さゆり会長までご連絡ください。(親睦の会会員は、バス代無料)

バス遠足気分を味わい、シドニー日本クラブ(JCS)のお祭り「JCSフェイト」で食べ物の屋台、小物販売、イベント等々を満喫したいと思います。

日 時: 7月12日(土)11:00~15:00

バス代: 往復5ドル(親睦の会会員は無料)

出 発: 毎月例会を行なっている会場の前

The Dougherty Community Centre
7 Victor Street, Chatswood

10:00 専用バス出発

11:00 フェイト開始(Auburn Community Picnic Area)

15:00 オープン会場から専用バス出発

15:40 毎月例会を行なっている会場到着・解散
(The Dougherty Community Centre)

ご自分の車で向かわれる方は、どうぞ気をつけていらしてください。会場のAuburn Community Picnic Areaは、Auburn Botanic Gardensに隣接しています。Killeen Streetから入って駐車することができます。

天気に恵まれますように祈りましょう。

【2014年6月例会報告】

6月21日(土)は、林さゆり会長からの連絡・相談事項が多いため、美味しい和食弁当を食べている途中ででしたが、早目に開始しました。来月はJCSフェイトに参加し、親睦の会からも食べ物販売(太巻き・細巻き寿司、いなり、赤飯、おぼろ)とガレージセールをすることになったので、その担当者を相談し合いました。また、親睦の会が、JCSフェイトでの「紙芝居」「ラジオ体操」の担当にもなったので、その打ち合わせもしました。紙芝居は、子ども達に喜んでもらえるよう、「おむすびころりん」と「なぜ七夕にさかさざりをするの?」に決まりました。

6月に誕生日を迎えられたコー・ロイさん、城間多津子さん、松前了さんの三人に、パースデー・ソングを歌ってお祝いしました。

6月に誕生日を迎えられた(左から)松前了さん、城間多津子さん、コー・ロイさん。いつも温かな笑顔が印象的な松前さんですが、とってもダンディに写ってますね。暫く日本に行ってください。と城間さん。お氣をつけていらしてください。ビジターとして参加くださったコー・ロイさん、正式に親睦の会の会員になられました。

た。台湾人会名誉会長もなさっておられるロイさんは85歳。「毎朝ゴルフをしています。カラオケで日本の演歌を歌うのが大好きです」とご高齢を感じさせない澆澆としたお声でおっしゃいました。仲間が増えて嬉しいです。



ゲスト・スピーカーとしてお招きしたのは、才川須美さん。お忙しい中、お越し下さいまして本当にありがとうございます。誰もが望んでいる健康のお話を伺うことができるのを楽しみにしておりました。題目は「新型栄養失調」ということで、会場からは、食べたい物が何でも手に入るこのご時世で栄養失調の人っているの? という言葉が飛び交いました。

「新型栄養失調」とは、物資が不足していた戦後の栄養失調とは異なり、体内でたんぱく質が不足するようになるそうです。WHO(世界保健機関)の定義では、高齢期とは65歳以上の人のことを指します。高齢期に入ると、中年期とは体の仕組みも変わってくるので、それに見合った栄養の摂り方をしなくてはなりません。よく耳にするコレステロールは、70歳以上ではむしろ総コレステロール値が高いほうが様々な病気を予防できるそうです。コレステロールは、細胞膜を作ったり、生命現象に重要な役割を果たす大切な物質の一つなのです。過度の粗食信仰は栄養失調の元となるのでご注意ください。

高齢期に入ると食事量も少なくなり、動物性タンパク質が不足しがちです。高齢者は積極的に肉や魚、卵、乳製品を摂らなければなりません。しかし長年、肉類や油を控えてきた人は、高齢期に入っても「生活習慣病予防の食習慣」を続けて、栄養不足に陥ると言われています。「生活習慣病予防の食習慣」は、30~50代の中年期まででいいのです。「昔の日本の食事は体に良い」という食情報から、「粗食は健康に良い」と考える方がいます。しかし、日本人が世界一の長寿国になったのは、戦後、肉類・卵・乳製品や油脂類をたくさん摂るようになり、タンパク質やコレステロール摂取量が増加したからです。

高齢期に入り新型栄養失調になると、身体がだるく、歩くのに支障がでできます。自覚症状がある方は、一日1品は、サラダ油、ゴマ油、オリーブオイル、バターなど種類の異なる脂肪酸の油を使ったおかずを食べることを心がけましょう。アボガドやナッツ類にもいい油が含まれています。肉や魚は毎日の食事に欠かさないようにしましょう。肉は、アミノ酸の構成が人間の体に一番近い良性のタンパク質で、必須アミノ酸を効率よく摂取でき

ます。豚・牛・鶏などの肉の美味しさを味わうために、和・洋・中華の調理法を工夫しましょう。お魚好きな人もできれば一日1回は肉を食べ、魚料理と肉料理の比率を1:1にします。乳製品は、たんぱく質を補うほかに、カルシウムも補給してくれます。

低栄養かどうかは、血液検査のアルブミンの値で判断します(今年度から75歳以上の長寿健診の検査項目に、アルブミンが追加されました)。アルブミンはたんぱく質の一種で、血液中の血清タンパク質の約6割を占め、体の組織を作る材料となります。不足すると、貧血や骨折、肺炎や結核などの感染症、さらには脳出血まで起こす恐れがあります。

健康で暮らすには免疫力を高める必要もあります。では、どうすれば良いのでしょうか。ひとつは腸内環境を整えること、次に自律神経のうち副交感神経の働きを優位にすることです。食物繊維、オリゴ糖、発酵食品、良質タンパク質、ねばねばした食品を食べることです、とバラエティに富んだ献立も紹介してくださいました。

会員からは、今までの食生活に対する間違っただけの考えを改め、今日の話しを忘れずに毎日の食事を楽しみたい、との声も出ました。才川須美さん、ためになるご教授大変ありがとうございました。美味しく食べて、健康で過ごしたいと思います。ご多忙の毎日と拝察しておりますが、益々のご活躍をお祈りしております。

【お知らせ】

■正式に「親睦の会」の会員になられたKo Roy(柯 再興)さん、台湾人会名誉会長でもあられます。親睦の会の運営のために使ってくださいと、300ドルの寄付を頂戴いたしました。ご高配に心から感謝申し上げます。

■橋本克子さんが、6月例会でのおはぎの販売から得た収益金50ドルを親睦の会に寄付してくださいました。有り難く会の運営に使わせていただきます。どうもありがとうございました。

■神谷誠二さん、小林敏明さん、清水正さん、高橋克海さん、ヤング京子さん、ロビンソン治子さん(五十音順)より、書籍とDVDの寄贈がありました。月例会で販売させていただきます。6月例会では、好評のDVDの寄贈が多かったのですが、あっという間に完売しました。収益金は46ドルでした。これからもお家にあるDVDをお持ちください。ご協力誠にありがとうございます。

■7月例会のJCSフェイトでの出店に当たり、多数のみなさんがガレージセール用の品物を寄贈くださいました。林さゆり会長が会場まで運搬しますが、値付けは、さゆり会長、有泉事務局長、鷺頭・橋本両ボランティアでいたしますので、ご了承ください。また、6月例会時に「当日直接会場に持っていてもよいか」という質問が出ましたが、大歓迎ですのでよろしくお願いいたします。

食べ物販売の「太巻き・細巻き寿司、いなり、赤飯、おはぎ」作りは、橋本克子さんを先頭に、さゆり会長、斉藤副会長、朝比奈幹事、ローラー義美さんで行ないます。



ゲストスピーカー才川須美さんを囲んで記念撮影をしました。美味しく食べて健康で過ごしたいと誰もが望んでいます。お話を伺って、今日から食卓に並ぶお料理が変わりそうです。

フェイト当日の寿司等とガレージセールの販売・集金担当は、小林一美さん、清水和美さん、松前さゆりさん、村田智富子さん、リヒター幸子さんです。また、去年は食べ物の販売が大好評で、買いたい人達で混乱が起きました。今年は混乱を避けるため、人員整理担当を、小林敏明さん、清水正さん、松前了さんら男性軍がしてくださいますので心強いです。親睦の会会員が一丸となり、安全に楽しみたいと思います。

■我々の良き仲間のジョリー洋子さんが、長いあいだ施設に入られていらっしゃるのをご周知の通りですが、この度ご子息が、洋子さんの洋服を大量に親睦の会に寄贈されました。フェイトのガレージセールで販売させていただきます。収益金は、親睦の会に寄付しますとご子息からの伝言でございます。洋子さんの朗らかな笑い声を思い出します。

■6月から清水和美さんがボランティアに加わってくださいました。月例会の受付や会計のお手伝いをしてくださいり助かりました。これからもよろしく願いいたします。

■9月6日(土)9:30~11:30、毎年恒例のWilloughby Spring Festivalでチャッツウッドをパレードします。親睦の会も参加します。スケジュールに入れておいてください。詳しいことは追ってお知らせします。

■9月例会「能・狂言展示会ツアー」

9月13日(第2土曜)NSW美術館・アートギャラリー

能楽は、ユネスコの世界無形遺産に選ばれており、NSW美術館では初めての試みということで滅多にない素晴らしい機会を逃すことなく、9月例会にすることにしました。ドガティセンターと美術館の往復バスを用意します。バス代は会が負担しますので、会員は無料です。午後1時半から約1時間、日本語で案内してもらいます。午後2時半過ぎからはメンバーズルームに移動後、アフタヌーンティーを飲みながら休憩。アフタヌーンティーには、コーヒー・紅茶とお菓子が用意されます。展示会の入場券、アフタヌーンティー代、メンバーズルームの利用を含めて、美術館では1人15ドルとのことですが、親睦の会から1人5ドルの助成金を出しますので、参加者は1人10ドルです。今のところ、20名弱の方が参加を希望されています。参加ご希望の方は、地区幹事にお知らせください。詳しいことは、追ってご連絡します。



THEATRE OF DREAMS

THEATRE OF PLAY

nō & kyōgen
in Japan

日本で最も権威あるコレクションからやってくる、日本最古の伝統芸能、能・狂言の装束、面、楽器、絵画等の展示品を通して、幽玄の世界をご体験下さい。

オーストラリアで最初のこの貴重な
展覧会をお見逃しなく！

日本語ツアー：水曜日、土曜日 午前11時

展覧会チケットをお買い求めの上、ご参加ください。

期間：6月14日—9月14日

(7月28日、29日、30日は、展示品入れ替えのため閉展。)

ART GALLERY OF NEW SOUTH WALES
ART GALLERY RD THE DOMAIN SYDNEY INFO LINE 1800 679 278
artgallery.nsw.gov.au

ART
GALLERY
NSW

The exhibition has been organised by the Art Gallery of New South Wales, the Agency for Cultural Affairs of the Government of Japan and the Japan Arts Council (National Noh Theatre)

left: Nō mask Ko-omote, Edo period, 17th century
right: Kyōgen mask Oto, Edo period, 18th century
National Noh Theatre

今年も、シドニーに「レインボーキッズ」がやってくる！

2011年の東日本大震災を受けて始まった被災児童のための保養プログラム、「シドニーレインボーステイプロジェクト」が、今年で4回目を迎えます。2014年からはシドニー日本クラブの傘下団体として、より一層幅広い活動を行っています。厳しい状況が続く福島原発被災児童が、今年も参加対象となっており、双葉郡大熊町、いわき市、福島市などから、孤児を含む10名が8月にシドニーにやってきます。滞在に向けて、児童達は作文を書くのですが、その原文をここに一部抜粋し、掲載いたします。

震災で学んだ事

元、双葉郡大熊町在住、13歳女子

私が震災で学んだことの1つは、恐怖です。

地面がゆれる音、みんなのさげび声、自分のさげび声、あの時私は何が起きているかわからず、「ごめんなさい、ごめんなさい」と言うしかできませんでした。

地震が止まった後も、余震が続き、家族もなかなか迎えに来てくれず、「ゴオー」という津波の音などに、恐怖で押しつぶされそうになりました。

2つ目は、大切さです。命の大切さ、家族の大切さ、故郷の大切さ、他にもたくさん大切なものがあります。あの時に一瞬で消えていったものがあります。私一人が無事で、こんなに楽しい生活を送っていいんだろうか？と考えると、申し訳なくなって、生きているのもつらくなります。

(中略)

しかし、この助かった命を無駄にしたくはないです。亡くなってしまった人の分まで一生懸命生きて、この世界の未来を築いていきたいです。これからも、色々苦難や悲しいことがきっとあるでしょう、しかしそれを乗り越えていくのは自分です。失ったものを無駄にせず、心に刻んで明日への道を歩んでいきます、私は絶対に負けません。

東日本大震災を経験して、感じたこと、将来の抱負

いわき市養護施設在住、16歳女子

平成23年、3月11日、あの日起こった出来事を思い出したくありません。

その日、私は中学1年生でしたが、3年生の卒業式に出席していました。式はとても感動的でしたが、午後2時46分、状況は恐ろしいものになってしまいました。見慣れた光景が一瞬にして大きく姿を変えた時のことは、簡単に言い表せません。

(中略)

震災から3年が経った今の養護施設での生活は、周りに一緒に暮らしている仲間や声をかけてくれる職員、ご飯を作ってくれる調理師がいて、不便は感じません。



不安なときに、私の話を聞いてアドバイスをくれる保育士の先生には、いつも支えてもらっています。話を聞いてもらうと安心でき、ストレスが和らぎます。子供が好きで将来は私も子供の支えになりたいです。

もう一つの夢は、世界に震災の経験を発信することです。つらい経験をしたからこそ、そこでさまざまな課題が見えてきました。これらについて各国の方々とは意見交換できるようになりたいです。そして復興が少しでも早く進むように、私ができることを見つけたいです。この夢をかなえるために、プロジェクトの参加を希望します。

これまでに、30名以上のこうした児童達を、JCSレインボープロジェクトは受け入れてきました。

シドニーという海外の新しい世界で多くの児童達が将来の夢を見出しました。そしてその後も、一生懸命に頑張っている彼らを継続的に応援しています。また、児童達からレインボー体験談を聞く福島住民からも、「励まされる」と喜んでいただいています。つらい経験をしたからこそ、強くたくましい児童ばかりで、シドニーに住む私達大人のほうが、勇気や感動を与えられることもあります。

このプロジェクトを支えるために、これまで多くの個人、企業、団体が惜しみない協力をしてくれました。震災から3年以上が経った今も、たくさんのオーストラリア人達がこのプロジェクトを支援してくれています。このような事実を、レインボーを通じて東北の人達に伝えていきたいと考えています。ぜひ、皆様の協力をお待ちしています。

今年のJCSレインボープロジェクト詳細は、下記サイトをご覧ください。

→ WWW.JCSRAINBOW.COM

JCS日本語学校シティ校
JCS Japanese School



- 学校: Ultimo Public School
(Cnr Quarry & Wattle Streets, Ultimo NSW 2007)
- 連絡先: PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話: 0407-461-618
- 授業: 毎週土曜日 / 幼児部: 9:30~12:10、小学部: 9:30~12:15
- Email: jcs-jpschcity@hotmail.com
- http://cityschool.japanclubofsydney.org/

学校の様子

早いもので2学期も終わり最終日の28日には毎年恒例となっている七夕行事が行われました。生徒全員に配られた笹の葉に、それぞれが願いを短冊に書いて飾りました。

7日には授業参観が行われました。今年はすべてのクラスで1時間目を開放したため、兄弟がいる保護者の方も行き来しやすかったようです。頑張っている姿を見てもらおうと、とても張り切っていた生徒や、いつもと違った雰囲気にとちょっと緊張している生徒もいましたが、すぐにいつもの調子を取り戻して真剣に授業に参加していました。

授業では8月のスピーチコンテストに向けて、保護者ボランティアの方の助けを借りながら、テーマを決めたり、文章を組み立てたりなどの取り組みがすでに始まっています。人前に立って話をするというのは、大人でも難しいものです。自分の意見をしっかりと伝えるようになるには子供のころからの練習がとても大切なのではないのでしょうか。

7月12日(土曜日)には毎年恒例のフェイトが開催されます。シティ校からは去年も大好評だったおにぎり、こねこねランドを出店します。そのほかにも子供が楽しめるイベントが盛りだくさんです。どなたにも参加していただける楽しいイベントですので、お誘いあわせの上ぜひお越しください!



クラス紹介 とびうお座

とびうお座は、男の子5人・女の子8人の計13人でいつも元気いっぱいのクラスです。そして毎週、笑い声が教室中にひびいています。この笑顔いっぱいで、にぎやかな子供たちが楽しく日本語を学べるように、教科書学習だけでなくクイズやゲームをしたり、朝の会と帰りの会、作文の発表会などもしたりしています。

毎週の授業では小学二年生の国語教科書を中心に日本の行事に関するクイズや漢字・カタカナ・日本語ゲームなどを行っています。また、日本語で考える力を育てるために身近な出来事を作文に書いて発表や漢字やカタカナの定着のために復習テストなども毎週行っています。さらに、年間を通して『がんばったで賞』というポイントカードを利用しています。このポイントはテストで満点を取ったり、クイズ・ゲームに参加や勝ったり、教師やクラスのみんながいつも以上にがんばったと認めた時にもらえるようになっています。この賞によって、子どもたちの勉強への意欲が向上し全ての活動に積極的に参加してくれています。

また、今学期からは校内行事であるスピーチコンテストに向けて様々な活動をしています。今年は『夢〜大きくなったら〜』がテーマになるので、とびうお座の子ども達が自分の夢について自信を持って発表できるように、長い文の書き方、原稿用紙の使い方、発表のコツなどを毎週少しずつ学んでいます。

これからも教科書・漢字学習やクイズ・ゲームなどで聞く・読む・話す・書くの四技能をバランスよく取り入れて、みんなが積極的に楽しく学べるような授業・学級作りを心掛けていきたいと思ひます。

(担任: 齊藤瑠唯)



JCS日本語学校ダングス校 JCS Japanese School Dundas

- 学校: Dundas Public School
(85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)
- 連絡先: 電話: 0411-734-819
- 授業: 毎週土曜日/9:30~12:15
- Email: jcs-jpschdundas@live.com
- http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html



2学期後半に入り…

ダングス校では、5月31日に元シティ校教員の小林美穂先生とシティ校保護者の遠藤みかこさんにお越し頂き、保護者向けの「バイリンガル子育てセミナー」が行われました。当日は、多くの保護者が参加し、専門的な話と先生ご自身の体験談を交えた、とても解り易く楽しいセミナーとなりました。またゲストスピーカーの遠藤さんには、海外において、両親とも日本人で第一言語が日本語という環境での子育てについてお話いただきました。

6月14日と21日の2週にかけて、校内発表会兼参観日が開催されました。いつものスピーチコンテストとは少し違う発表形式の、各クラス趣向を凝らした発表内容で、それまで何週間もかけて準備と練習してきた生徒たちが、努力の成果を披露してくれました。

2学期最終日は、七夕にはまだ少し早い6月28日でしたが、授業や終業式で生徒たちへ七夕用の笹が配られました。保護者の方々に作成のご協力いただき、少しずつですが飾りも配られました。各クラスでも七夕のクラフトや行事についての学習が行われました。



クラス紹介 若葉組

今年度の若葉組は10名でのスタートでしたが、2学期からは2名減り、男子5名そして女子3名の8人編成のクラスとなっています。学年的には小6が2名、中学生が4名、そして高校生が2名です。ダングス校での年長者クラスとなり、授業内容は小学4年生の教科書を中心に授業を進めています。4年生の教科書ともなると、継承語を学ぶ生徒たちにはあまり必要のない『国語』的な単元も多く、教科書のみというわけにはいきませんが…。

若葉組の担任となって4年目となるため、授業に工夫を加えたいと考え、先学期は、毎週2名から3名の生徒に、自分が選んだテーマについての小スピーチ的なことをしてもらいました。面白いことに、普段どちらかという口数の少ない生徒がこの小スピーチに一番意欲的で、予定では1人2回ずつだったのですが、結局3回スピーチをしてくれました。スピーチの内容も『ゲーム』、『東日本大震災』、そして『ゴジラ』についてとバラエティーにとんでいました。他にも、『だるま』やアメリカのテレビ番組からの『Life after People』という面白いテーマもでてきました。どこで興味をもってくれるのか、普段の生徒たちの様子だけではわからないことを実感しました。

今年は、毎年恒例であったJCS主催の『スピーチコンテスト』はなく、ダングス校では、『朗読会』の実施ということになっております。若葉組では、朗読劇的なものをやることに決めました。＜広島女学院原爆被災誌『夏雲』＞より 編集された『夏雲は忘れない』という朗読劇からのものです。この被災誌から一部を抜粋し、難しい言葉については易しいものに置き換えたりして編集を加えました。実際に朗読を始める前に台本の内容を説明することから始めましたが、言葉の説明のみならず、何故広島が原爆投下地に選ばれたのか、原爆投下後の様子などについても説明を加えていきました。もちろんこれらは、私自身の体験ではなく、子どもの頃、被爆者である両親、祖母、伯母から聞いた話ですが。

この台本の最後に「20世紀は戦争の世紀でした。」と書かれているのですが、まさにその通りですね。ダングス校に通う生徒たちは皆、21世紀生まれとなりますが、オーストラリアと日本との架け橋となるだけでなく、是非とも世界を「平和な世紀」にする手助けとなるよう頑張りたいと思います。そのためにも、これからも、多文化、多言語社会で生きていくメリットや重要性を自覚して一生懸命日本語の勉強に励んでもらいたいと思います。

(担任:大上祐一)

JCS教育支援委員会議事録 2014年6月

日時:6月5日(木)10:20~13:00 場所:North Ryde RSL
 出席[JCS]チヨーカー和子、水越有史郎
 [City校]山田朝子、朝倉則子、マーン薫、ジョアネス恵美、
 コステロ久恵
 [Dundas校]コルダ陽子、松井香代子
 議長担当: コステロ 議事録担当: シティ校

1. 報告事項 各学校からの報告

City校: 児童数: 12クラス、164名、118家族、休学6名

5月10日は母の日のクラフト作成が各クラスで行われた。17日には小林美穂先生に「小学校入学準備説明会」セミナーを保護者向けに開催していただいた。25名ほどの参加者で行われ、質問と先生の熱心なお話で予定時間を30分以上もオーバーするほど好評であった。

24日にはBig Morning Teaと題した現地校へのファンディングとHSCJCのお餅販売が同日に行われた。お餅は好評で5分もたたないうちに完売。ファンディングも多数の保護者の協力のもと、用意したものはすべて売ることができた。このうち経費を引いた280ドルを現地校に寄付。子供達には別の低いテーブルに子供用のお菓子を用意し、小銭を持った子供達が日本語でお買い物を体験することのできる有意義な機会となった。

7日に授業参観、28日に七夕と終業式を予定。

Dundas校: 児童数: 8クラス、85名、57家族、編入者3名

5月10日、各クラスで母の日のクラフトを行った。

24日、ファンディング係りが中心となり古本市市場を実施。昨年JCSより寄付いただいた小説や保護者からの寄付、古いドリル等多くの日本語本が市場に並び、生徒達にとっても小銭を持って日本語で買い物ができるよい機会だった。

31日、小林美穂先生と遠藤みかこさんを招いて、保護者向け「バイリンガル子育て」セミナーを開催した。スピーカーの分かりやすい説明や体験談が保護者の共感を得て、30名弱の保護者が参加し、大盛況だった。

6月14日、21日校内発表会兼参観日、28日七夕、終業式を予定。

[JCS事務局]

JCSだより6月号掲載のフェイトの曜日が間違っており、6月3日の段階で訂正されているが、7月12日(土)のリマインド、フェイトのビンゴ賞品寄贈の依頼を引き続きお願いしたい。総会の日程も文中17日と記載されているが16日の誤り。

ビンゴ賞品寄贈のレターは訂正版を保護者に送付するなどし、引き続き寄付を募っていく。

2. 教育支援委員会全体

2.1 会計取り組み状況について

特になし

2.2 理事会報告

* 7月3日開催の「女性のための健康セミナー」はJCSだより掲載の内容を、掲示板などで保護者にお知らせして参加者を募る。対象年齢は50歳以上とあるが、年齢は関係なく誰でも参加できる。

* JCSの非課税団体申請を鳥居会計士がされている。
 * 8月16日2:20~3:00pmにDougherty Centreで行われる年次総会の議案と委任状が送られてくるので、目を通した上で保護者に記入をしてもらおうか、メールで送付してもらおう。委任状入手から総会まで時間がないため、門の内側にテーブルを置いて呼びかけるなどして記入をお願いする。ダングス校はコステロ、シティ校は山田が取りまとめて持参する。

* 7月12日(土)JCSフェイト

Auburnの駅から会場までのバスが運行される。誰でも利用することができるが、予約が必要。時間はAuburn駅発10:55am、人数が多い場合は11:30amの便も検討。帰りは午後3時を予定。利用人数によって運行回数を決めるので、利用希望者は必ず事務局まで予約が必要。各学校でバスの運行もフェイト情報と共にもう一度保護者に告知する。

* 各学校は、掲示板やニュースレターで告知する。

* シティ校は校歌の歌詞カードとCD、紙芝居の木枠、玉入れ、綱引き、PAを用意する。PAは事前に充電を必ずしておくこと。

* 親睦の会による紙芝居の際、座って紙芝居を見せてもらえるようにピクニックテーブルと椅子を準備。

* ダングス校はラジオ体操のCDを用意する。

* 雨天決行

* 9月6日にストリートパレードが9:30~11:30amに行われる。親睦の会とソーラン踊り隊が参加予定。

* 東北福祉大学生16名より交流依頼があったがノースシドニーガールズハイスクールで交流が決定した。

* カウラ70周年記念慰霊祭の受付を事務局で行う。

2.3 ミニスターズアワード申請について

6月14日の締切日に間に合わせて、以下の生徒を推薦した。

ジュニアの部 シティ校:リン優香さん
 ダングス校:行武真依亜さん

シニアの部 シティ校:加藤夕奈さん
 ダングス校:クリッソルド・ポールさん

3.理事会の出席について

7月DD校、8月City校

4.今学期事業計画(7月～8月)

(下表参照)

■JCS日本語学校の年間事業計画(2014年7-8月)

月	JCS・教育支援委	City校	Dundas校
7月	理事会(2日)、フェイト(12日)	始業式、保護者会(19日)	始業式、保護者会(19日)、TC会議(26日)
8月	理事会(6日)、総会(16日)	TC会議(2日)校内スピコン予選(9日)本選(23日)	眉山女学園来校(9日、16日、23日)

※次回の教育支援委員会は、7月17日(木)午前10時から、North Ryde RSLにて開催。

議長:山田、議事録:シティ校

教育よしなしごと(8)

金沢大学 折川 司



初音耳作をご存じですか。

江戸時代の後期、大阪道頓堀に登場した見世物芸人です。「はつねみみさく」と読みます。豊後生まれの耳作は、耳から声を出せるということで評判でした。

興津要の『江戸娯楽誌』(講談社)によると「最初は、耳からちいさい声を出して小手しらべをすませると、流行している大文字屋のかぼちゃ節を唄い、つづいて、竹独楽のうなりに似た大声を発し、最後に、いろいろな小唄を三味線の伴奏で唄った」ようです。それも、タバコをのみながらというのだから不思議。妙な芸を使える人がいたものです。

先の『江戸娯楽誌』には、江戸の娯楽の実に多彩な様子が紹介されています。剣の刃渡りや籠抜けのような軽業があり、幻戯(今でいうイリュージョン)もあります。屁ひり男がいたと思えば、提灯男や鍋食い男のような珍妙なもいたりする。万歳や豆蔵が辻で笑いを生み出せば、餅の曲搗きや曲独楽・居合抜きが人々を驚かせる。ここに書き切れないほどの芸の数々は、コンピュータやテレビ、ゲーム機などでは生み出せない魅力をもっていたに違いありません。

しかし、残念なことに、こうした江戸の娯楽のほとんどは、21世紀の今再現することができません。文献に記録されてはいますが、一瞬にして大

名行列を出して見せる幻戯はどのようなものだったのでしょうか。鍋食い男はどんな風に異物を食べ、耳から出す初音耳作の声は一体どんな感じだったのでしょうか。

江戸の人々は、目の前で演じられ、自分たちが今まさに夢中になっている豊かな娯楽文化が、将来跡形もなく消えてしまうなどは夢にも思わなかったに違いありません。

文化とは、一度失われてしまうと再興再現することが非常に難しいものです。今、日本の国語教育では、書写書道に関する指導が心配すべき状況になっているような気がします。小中学校の書写の未履修が常態化していたり、高校の書道教諭が、ある県内にたった2人しかいなかったりという現状は、遠くない将来に「昔は書写書道なんていう勉強があったんだね」「筆で文字を書いていた時代もあったらしいよ」となってしまうことを暗示しているようで寂しい限りです。

オーストラリアの日本人学校の状況はいかがでしょうか。



SYDNEY
ソーラン踊り隊

踊り隊がSBSに出演しました！

サッカーワールドカップで日本を応援された方が多いと思いますが、SBSのワールドカップ番組に踊り隊のメンバーが出演しました。日本チームの初戦の前夜に放映された番組で、日本とコートジボワールの応援合戦という趣向で、両国を代表して踊りを披露、どちらの踊りが良かったかを番組内で評価するというものです。踊り合戦では日本が勝ちましたが、本番では負けてしまいましたね。



また、長らくダンスリーダーを務めてくれた和哉君の送別BBQを行ないました。いつもイベントではセンターで踊っていた和哉君がオーストラリアを離れるということで、BBQには多くのメンバーが参加しました。



今年も数々のイベントに参加して、日本の踊りを披露していきます。皆さん応援よろしくお祈いします。もちろん一緒に踊りたい方、大歓迎です！

踊り隊では毎週練習を行っています。是非、ご参加ください。

①Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray) 毎週土曜日2時～3時

②シドニー市内では初心者の方を中心に練習しています。 毎週火曜日6時半～8時

③Marrickville West Public School (Cnr Beauchamp St & Livingstone Rd) 毎週月曜日4時～5時

参加ご希望の方は、平岡正美(携帯:0406-511-221または、

Email: masa7833@hotmail.com)までご連絡ください。

進め!

第16回 多民族社会の寛容性に変化の兆し?

マルチカルチュラルイズム

by.Yushiro

サッカーワールドカップの決勝7月14日までは鼻のチームを応援したり、試合観戦で寝不足が続くことでしょう。ところでワールドカップやオリンピックとなると、多民族社会オーストラリアならではの応援合戦が繰り広げられます。家庭でも、夫と妻の出身国が異なり、子どもも一緒になって、オーストラリアとそれぞれの出身国の応援となるようです。

英国移民 3%

米国・カナダ移民 7%

ニュージーランド移民 1%

こんな結果を知ると、移民はオーストラリア人と仲良く暮らしていないのか?とってしまいます。

でも、OECDの調査では、オーストラリア人の95%が、困った時や苦しい時に助けを求められる人がいると答え、これはOECDの平均を上回っています。また、最近見知らぬ人を助けたと答えた人は65%と、OECDの平均47%を上回っています。ということはオーストラリア人はやっぱり、面倒見が良く、フレンドリーで、親切なんですか。

*最近のアジア諸国からの移民のうち40%以上が差別を感じている

*差別を感じている非英語圏出身の移民は、英語圏出身の移民の2倍

*最近の移民でオーストラリア人は「面倒見が良く、フレンドリーで、親切だ」と感じているのは3%

昔から移民大国として発展してきたオーストラリアです。難民も数多く受け入れてきました。アボット政権は難民対策に強硬姿勢をとっていますが、国民一般はそれほど強い態度で難民の受け入れに反対という世論にはなっていないようです。

こんな調査結果を見て、へえ～そうなの?と思いませんか、それともやっぱりそうだと感じますか。調査結果はそうですが、それでも多くの移民は、オーストラリアでの新生活を満足しています。

*国民の52%は移民の受け入れを支持している

*文化の多様性に対しての大きな反対はない

【問い】オーストラリア人を「面倒見が良く、フレンドリーで、親切だ」と感じるか?

これらの調査結果はオーストラリア社会の変化の兆しを現しているのか、それとも周りのオージーはやっぱりフレンドリーなのか?さて、日本人のあなたは、オーストラリア人を「面倒見が良く、フレンドリーで、親切だ」と感じていますか?

【答え】インド・スリランカ移民 4%

2014 カウラブレイクアウト追悼法要ユースツアーのご案内

オーストラリアに住む日本の子供たちに伝えませんか、昔、日本とオーストラリアとが戦争していた事実を、カウラという街に日本人捕虜収容所があったことを、死ぬのを覚悟で日本の兵隊さんが脱走しようとしたことを、そしてその多くの人が機関銃の前で倒れていったことを、実際に見てもらいませんか、彼らの子供たちに語り継いでもらうために。



1944年8月5日、今から丁度70年前にシドニーから約310km内陸にあるカウラという街にあった捕虜収容所から脱走を試み亡くなった231人の日本人と4人の豪州兵を追悼する式典が、今年もカウラの墓地にて行われます。今年は当日が火曜日となっていますが、その前々日の3日(日)にもバスツアーの一行を迎え特別に式典が行われる予定となっています。

このカウラでの式典にシドニーに住む日本の子供たちと一緒にバスで訪れ参列し、実際の収容所跡を見学して、子供たちが住むこのオーストラリアで何が起きたかということを知り、平和の大切さを実感し、将来、彼らの子供たちへと語り継いでもらえるように、と願いこのツアーを計画致しました。

当日は朝8時にチャッツウッド駅前を出発し、途中休憩を取りながらブルーマウンテンそしてパーストを経て昼過ぎにカウラに到着し、午後二時からの豪州人並びに日本人戦没者墓地での式典に地元関係者らと一緒に参列致します。そして捕虜収容所跡地等を訪れたあと帰途に着きシドニー帰着は午後8時頃を予定しています。

お子様の参加を希望されます方は、お子様の名前・年齢・生年月日、そして保護者の名前・連絡先電話番号・E-mailアドレスをご明記の上、下記E-mailアドレスへお申し込み下さい。尚、希望者多数の場合、シドニーにお住まいの高校生以下の年長者から優先的に参加して頂きたく考えています。席に余裕のある場合は、大人の方や保護者の方も参加頂くことも可能でございますので、ご希望の方はその旨お伝え下さい。

最後にこのツアーは賛同して頂いた皆さんの寄付金をもとに催行させて頂く予定にしております。数多くの皆様のご賛同を募っております。保護者の皆様からの寄付も歓迎致します。

浄土真宗本願寺派オーストラリア開教事務所
所長 渡部重信

〈カウラブレイクアウト追悼法要ユースツアー〉

■日時:8月3日(日)午前8時チャッツウッド駅西側のMantraホテル(10 Brown St)前集合・出発。
同日同場所、午後8時半頃帰着。

■連絡先:

バスツアーに関するお問い合わせ・お申し込み

info@kokusai-youth.org 松村まで

催行のための賛同金(寄付金)に関するお問い合わせ

hbma@optusnet.com.au 渡部まで

■費用:ゴールドコインの寄付

■主催:浄土真宗本願寺派(西本願寺)オーストラリア開教事務所

■共催:NPO国際ユース基金

■後援:シドニー日本クラブ

■お知らせ並びに注意事項

*当日のツアーはすべて自己責任にてご参加頂きます。

*車内ではカウラブレイクアウトを題材にしたビデオドラマ等を見ながら過ごします。

*行き帰りともに長時間のバス乗車になりますが、その分こんな遠いところまで日本の兵隊たちが送られてきたのだという歴史の事実を実感できます。

*車内ではペットボトル等、フタのある容器の飲み物の持ち込みが可能です。

*車内では食べ物を頂くことができませんが、途中何箇所か休憩します。その際、子供さんが自分で頂けるようなお握りやサンドイッチ、飲み物などを十分ご用意されることをお勧めします。

*引率者は渡部本人と1,2名の大人のみとなります。





佐藤至子(日本大学文理学部)
ysato@chs.nihon-u.ac.jp

第67回 相撲見物

久しぶりに相撲見物も良かろうということで、両国国技館で、大相撲五月場所を見物した。相撲は観戦というより見物というほうがしっくりする。

初めて両国国技館に入ったのは二十年ほど前である。客席から土俵が見えた時の驚きは忘れない。国技館はたとえば、巨大なすり鉢の底に土俵があり、すり鉢の斜面に客席がある。だから二階の椅子席から下を見ると、土俵に向かって配置された、たくさんの客席が見渡せる。二階、一階、土俵にきわめて近い場所(砂かぶり)。それらが煌煌と明るい照明の下に広がっているのである。

今回も、さすがに最初の時ほどの驚きはなかったが、土俵を見下ろした時の空間の広がり、その一種爽快な感じは変わらなかった。

もちろん二階席から土俵はかなり遠いので、力士の動きを精細に見たい人にはテレビ観戦が一番いいだろう。だが、力士どうしがぶつかりあう時の「パチーン！」という音の迫力は、やはり生で聴くのがよいのである。

ところで私の好きな力士は、かつては逆鉾(さかほこ、今の井筒親方)であり、ついこの間までは魁皇(か

いおう、今の浅香山親方)だった。残念ながら、その後はこの二人ほど肩入れする力士がいない。

最近は遠藤という若い力士が人気を集めていると聞いていたが、私はほとんどテレビを見ないので、遠藤がどういう外見であるかということも全く知らないでいた。しかし今回の相撲見物で、その人気を実感することになった。

私の隣には若いふたりの女性が座っていて、一方が比較的相撲に詳しいらしく、もう一方に何かと教えていた。教わっている方は初めて見物するらしく、どの取組にも真剣なまなざしを向けていた。その女性が、遠藤の取組みの時に突然、A4判くらいの大きさの紙を出して土俵に向けた。そこには遠藤のしこ名が書かれていた。

たった一枚の紙、しかも二階席のA4サイズでは、どう見積もっても土俵からは見えないだろう。しかしその女性はその紙を出すことで自分の気持ちを表現していた。野球ファンが球場の観客席で、画用紙か何かに選手名を書いて高く上げているのを思い出す光景であった。

そういえば名古屋で相撲見物をした時は、行事のファンクラブが応援に来ていて、その行事が出て来ると横断幕をかがげ、さらに揃いの軍配をかがげて声援を送っていた。集団なのでかなり目立っていた。行事のファンを見たのはその時が最初で最後である。

今回は、誰の取組みだったか、負けたほうの力士に「明日があるぞっ！！」と二階から大声で励ましているお客さんもいた。たくさんの見知らぬ人たちと時間・空間を共有し、いろいろな声援を聞くのも生で見物する楽しさである。

外食日記



いつも行列ができている人気のMamak Malaysian Restaurantの隣にあります。道路に面した小さめの扉を開けて入ると内部は半分が吹き抜けになっていて、薄暗く高級感のある大人っぽい空間を演出しています。テーブルや椅子の配置がよく、天井を覆う大きな木製の内装(オブジェ?)に圧倒されます。フロアはタイル張りですがオブジェが音を吸収しているのかあまり騒々しくならないようです。従業員の多くが若者で、丁寧でサービスは機敏。ヌードルハウスという店名からも分かるように麺類の種類が豊富で、麺にこしあり。粉もの(春巻きや餃子、ワンタンなど)は大きめで手作り感いっぱい。どれも病み付きになる安さと美味しさです。加えて一品料理が驚くほど充実しています。肉料理はどれも美味ながら一押しはポークネックです！野菜料理はやさしい味で火のとおり加減が最高でした。今まで魚料理は2,3種類食べてみましたが、骨が入っているのちょっと食べにくいと思いました(味はおいしかったです)。実はこの店を発見してからあまりのおいしさにほんのふた月の間に4回も行ってしまいました。量が多目なので最低4人くらいで行くと良いです。

9 Noodle House

住所 17-19 Goulburn St, Haymarket

電話 (02)9281-5325

営業 月～木・日 11:30am-12:00am、
金 11:30-4:00am、
土 11:30am-5:30am

価格帯 麺類:\$13.80～、
ディナー\$20～

雰囲気 8/サービス 8/料理 9

ウェブ www.9noodlehouse.com/

世界モダン建築巡礼 55

Jun Sakaguchi (Architect)

愛宕グリーンヒルズ

by Cesar Pelli

日本での高いクオリティの高層ビル開発を続ける森ビルの2001年竣工のプロジェクト。

世界各地で数えきれないほどの高層ビルをデザインしてきたアメリカのCesar Pelliがデザインを手掛け、そのデザインは二つのタワーが挟む青松寺とその場所の特性に敬意を表し、蓮をイメージしたものとなっている。

敷地面積は1万5,000m²。フォレストタワーは地上42階、地下4階で354戸の住宅をメインとしており、森タワーはオフィスを中心とした地上42階、地下2階のタワーで187mの高さを持つ。

二つのタワーはその高さが上がるにつれて次第に細くなっていく形状を持ち、東京に偏在する四角い建物とは一線を画し、そのエレガントなフォームは一際目を引く優れたデザインといえる。

オフィスタワーはガラスをメインとしたファサードで、そのガラスの表面にセラミックの小さいドットがパターンとして施されているが、これは低層の方が密度が高く、高層になるほどドットの数が少なくなってガラスの透明度が増す。これによってタワーの上階に行くほど空を映し出す反射度の高いガラスとなり、低層部で



は内部のプライバシーをセラミックのドットが守る機能を持つ。このグラデーションがタワー自体の形状と相まって印象的な表情を与える。その優雅さがまさに蓮の花のイメージに重なる。

森タワーでは最上階にレストランを持ち、素晴らしい眺望を楽しむことができる。またフォレストタワーではジムとスパ、プールが最上階に配され、さらに屋上の眺望プラットフォームにも住民がアクセスすることができる。

最近では六本木ヒルズや東京ミッドタウンなどが東京では最も有名な巨大開発であり、その注目度も高いが、この愛宕グリーンヒルズは森ビルが生み出した国際都市としてふさわしいレベルの高層建築となっている。

東京ではこの20年ほどで何百もの高層住宅タワーやオフィスタワーがつくりだされてきたが、ほとんどが四角い形状でその場所の特性を無視した同じような表情のものばかりといえる。それは本当に悲しいほどの無機的な表情であり、日本が持っていたはずの繊細さや文化的なレベルの高さが全く見られていなかった。

そんな中で森ビルが生み出してきた都市空間は2012年に没するまで会社をリードしてきた森稔氏の理念に忠実に沿い、高層高密度で足元に緑のスペースをふんだんに供給する現代的な解決法といえる。最新作の虎ノ門ヒルズと併せてこうした優れた例が増えていくことを望む。



試してみよう マクロビオティックの健康レシピ 食べ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子
soramame

第45回 餃子の皮

先月からの中華続き♪で餃子の皮を自分で作りましょう。

市販の皮は簡単でいいですが、保存料や漂白剤などの添加物も気になるところ。ハードル高そうと思われがちですが(私自身もそう思っていました)、粉とお湯さえあればできるので、意外と簡単。やってみると「あ、できちゃった」と感激し、食べたらむちゃくちゃおいしいので、感激×2。

餡はひとまずいつもの具材で試してみてください。マクロビ風の餡は、次号でご紹介します！

【材料】 約24～26枚分

A 小麦粉(Plain Flour) 150g
強力粉(Bread Flour) 50g

B 熱湯 120ml

*打ち粉は計量外

【作り方】

- ①ボウルにAの粉を入れて軽く混ぜ、真ん中にくぼみを作って一気に熱湯を注ぎ、箸などでそばろ状になるまで混ぜる。
- ②①がそばろ状になったらボウルの中でこね、まとまったらボウルから取り出し、打ち粉をした台、またはシートの上でなめらかになるまでこねる(30回程度)。
- ③生地を丸くまとめてボウルに戻し、蓋をして45分休ませる。
- ④45分経ったら生地を作業台にのせ、めん棒で1ミリくらいに薄くのばして、丸い型で抜く。余った生地はまとめてからまたのばし、型で抜く。
- ⑤型で抜いた生地はくっつかないように打ち粉を振り

ながら重ねていく。

*強力粉はベーキングパウダーを含まないものを選びましょう。

*粉はいずれも無漂白のものを

*生地を24等分して、一枚ずつ棒で伸ばして皮にするのもおすすめ。



マクロビオティックって？

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養法」「正食法」のことです。穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

→ www.soramame.com.au



DISCOUNT

日本食販売

JCS会員様 特別ご優待 お買いもの合計金額より5%割引!!
必ずお会計の前にJCS会員の旨をお知らせ下さい。

店長
おすすめ!!

"がちゃがちゃ"が
日本からやって来ました!!

Chappy
フチコロ 男の子用、女の子用それぞれ
どんなおもちゃが出るかお楽しみ♪




バラエティMIX 1pc \$1.50

専用コイン(\$1.50)をJTT Shopのレジにてお買い求めください。

J-Top Trade Australia Pty. Ltd. Unit 3, 26-32 Kent Rd, Mascot NSW 2020
Ph: 02-9317-2500 / Fax: 02-9669-1988 / Email: order@jtt.com.au
営業時間: 月～土 10AM～5PM / オンラインショッピング: www.jtt.com.au
*駐車スペースあり・配送サービスあり(詳しくはWEBサイトをご覧ください)

Travel Centre International

格安航空券お取り扱い中!

弊社では発券手数料等ははたいておりません。
他社料金と比べてみてください。
ご帰国予定が決まったら、一度ご連絡下さい。

JR パス取扱中

各種ツアー

日本からご友人が来られる際は...
人数が6人以上集まれば、ブルーマウンテンや土ボタルツアーを貸切で催行いたします! 詳しくはお問い合わせ下さい。

Suite 602 Level 6
309 Pitt Street
Sydney NSW 2000



02-9267-7751

Email: tci.travel@bigpond.com

バイキーおばちゃんの旅日記 その14(最終回)

ピアス康子(バイククラブ「Ulysses」所属)

恐竜の町Wintonを後にして、ほどなく走ると私達はLongreachに着いた。この町は、オーストラリアが誇るカンタス航空が1920年に運航を始めたことで有名で、今ではカンタスのミュージアムがある。このQANTASという名前は、「Queensland And Northern Territory Aerial Service」の頭文字をとったものだ。

早めにLongreachに着いた私達は、このミュージアムを見学することができた。

この頃も私達は、まだ砂漠を走っており、その次の日は、Tropic of Capricorn(南回帰線)を越えた。昔日本にいた頃は、南回帰線なんて遠い外国のものでしかなかったのに、いま、そこをバイクで走っているなんて…と、また嬉しくなってしまった。おばちゃんの頭は単純です。

順調に旅は続き、それから3日後に旅の最後のホテルとなるGunnedahに着いた。その日の夕食は、チャイニーズtake awayを買ってきて、キャビンの中で旅の最後の夜を祝うことにした。

もうそろそろ我が家が恋しくなっていたので嬉しいはずなのだが、これでこの旅も終わるのだと思うと、なぜか寂しさを隠し切れない二つの思いが胸の中で交錯していた。毎日一緒に走った私達5人は、20日間も寝食をともにしたというのに、一度も喧嘩をせずに過ごすことができた。それも凄いことである。私達は、毎日冗談を言って笑って、助け合って、バイクに乗ってここまで来た。振り向けばいろいろなことがあり、苦勞を共にした友人たちとは、深い友情で結ばれた。

翌日、さあ今日は家に戻るぞという日は、これまで以上に緊張した。ここまで来て、帰宅を目前に事故に遭ってはいけないというプレッシャーを感じていたのだ。

シドニーの山間部まで戻ってきたところで、直前に起きたばかりの車とバイクの事故を見てしまった。(ライダーは、その後、死亡したと後になって聞いた。)やはり、身体がむき出しのバイクは危ないのだ。ただただ無事に家に着きますように…と祈りながら、家に向かって走った。そして、自分の家のドライブウェイに戻ってきてバイクのホーンを鳴らすと、待ち構えていた子どもたちが飛び出してきて、「母さん、よくやったね」と言って、涙を浮かべて私を抱きしめてくれた。私も涙がこみ上げ、笑いながら泣いていた。

こうして20日間に及ぶ、7,120キロの私のバイクの旅は無事終わった。オーストラリア中から300台に及ぶバイクがアリス・スプリングスに集まり、最終的に総



その年のクラブのクリスマスパーティで、ブラックドッグライドを完走した理由により、サムライ・スピリット・アワードを受賞。私の後ろがプレジデント。右が、この賞状を作成してくれた。



朝、荷物をバイクに取り付けるのも一苦勞。

額16万1,665ドルの寄付金を集めることができた。これは、ライダーの家族や友人、企業の方々が、チャリティーライドが始まる前に出してくれたものに加え、旅の途中でも(募金活動は一切していなかったが)、私達がブラックドッグライドをしていると分かった、「これを役立ててください」と言って、お金を出してくださった大勢の人達からのものである。

ブラックドッグライドの主旨は、うつ病患者を助け、自殺者を防ぐことだ。それに少しでも役立てたのが嬉しく、また自分自身にとっても、この旅は一生の思い出に残る貴重な体験になりました。

この回を持ちまして、バイキーおばちゃんの旅日記を終わらせていただきます。長い間ご愛読、また励ましのお声を下さり、ありがとうございました。郊外のコーヒーショップで、バイク乗りのいでたちをした私を見かけたら、お気軽に声をかけて下さい。皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

【編集から】感動的なチャリティーライドのお話、ピアス康子さんのコラムは今月号で終了します。ご愛読ありがとうございました。



先月に続き、今月は能・狂言展覧会場へご案内いたします。会場の地下一階アジア美術展示場入口の壁の老松は、能楽堂の舞台正面の鏡板に伝統的に描かれる老松を模したものです。松は能・狂言の発祥の地、奈良の春日神社の老松をルートとし、能楽がかつて屋外で演じられていたことの名残りともいわれます。会場は能・狂言の順に2つのセクションとなっており、会場の中ほどでは能・狂言舞台の見所・シーンを上映しております。

Theatre of dreams, theatre of play: 能・狂言展

能といえはまず豪華絢爛な舞台装束を思い浮かべる方が多いと思います。展示場は、能装束の中でも最も豪華でその代表といわれる唐織から始まります。唐織は元々は唐(中国)の蜀江の錦にならい、金銀糸や様々な色糸で草花等を浮織にしたもので、豪華さで唐織に並ぶのが刺繍と金銀の箔で模様を表した縫箔です。いずれも、その精巧な技法と贅沢さに驚かされます。能装束はすべて絹織物で作られ、模様

は、草花、朝廷や武家の有職模様、源氏物語や伊勢物語など古典の話、さらに異国ペルシャに起源するものさえあり、その色彩の豊かさ、優雅さ、斬新なデザインは観ていて飽きることがありません。能はその発生直後から足利将軍、豊臣秀吉、徳川将軍などの支配者に深く愛され、利用されてきました。贅を尽くした能装束、また蒔絵で飾られた楽器などに、時の支配者が惜しげなくつぎ込んだ富とセンスとが感じられます。

能面は能楽師が自己の全てを注ぎ込む能楽の核です。能面は“おもて”または“めん”と言われ、面を“かける”または“つける”と言い、鬼神、怨霊を表現し、美的表現をさらに強めるものとして使われます。その種類は200を超え、展示場では最も神聖視される翁、平家の公達、



金紅段枝垂桜尾長鳥模様唐織
18世紀

源氏の武将、半僧半俗の少年、悩める哲学青年、仁王像のような開口・閉口の雷神や天狗、嫉妬のために鬼になりつつある女、嫉妬が極限に達した女の面々などをご覧ください。さらに、通常、私達は面の裏を見ることはまずありませんが、本展では、透明ケースに展示される3つの面は裏側まで見ることができます。可憐な乙女の相「小面」の裏には金で「東洋外史」と記され、それを号とした土佐藩15代藩主、山内容堂所持と伝わっています。たおやかな気品のある「老女」の裏には江戸中期の面打師「出目洞水」の焼印と、朱漆で年号が記され、因洲池田家の伝来を伝え、また若い男性の神々しい相「神体」には、作者が暗に自作を示す「知らせ鉦」らしき3本の刻線が見えます。面裏からは能面の視野がいかに狭いかがわかり、舞台の四すみの柱が位置確認の目安になるわけが良く理解できます。

江戸時代に能は式楽(幕府の儀式用芸能)となります



白色尉 16~17世紀



空吹(うそふき) 19世紀

が、一般庶民の間には、能の歌唱である謡が大流行し、その稽古用の謡本の刊行と普及は目覚しく、当時の出版事業におけるベストセラーになりました。本展には、雲母入り料紙や高価な色替わり料紙を使った贅沢な謡本などが展示されています。また、掛け軸や絵巻、屏風に描かれた能舞台のキー・シーンや観客などからは、能の社会的背景などを推し量ることが出来ます。中でも幕末の弘化5年(1848)の一大興行であった宝生流勸進能を表現した弘化勸進能絵巻は、私達を江戸の街へタイム・スリップさせ、楽しませてくれます。

狂言のセクションは、それまでの雰囲気とかなり違った感じがします。豪華絢爛の絹織物の能装束と違い、狂言衣装は麻と染、袖なしの上着と短い袴、文様も奇抜でポップな絵が染め抜かれています。面も、何ともひょうきんで楽しく、味わい深い表情が魅力です。能と同時期に発生しながら、ごく普通の人間を主人公とする狂言ならではのことでしょうか。

華やかな装束と囃子の楽器、不思議な魅力をたたえた能面、美しい描写を通して歴史を感じさせてくれる能・狂言絵巻の数々を間近にご覧いただける展覧会です。ぜひこの機会にお越しくださいませう。

6月14日~9月14日の期間中、毎週水曜・土曜11時(約1時間)より、日本語のツアーを行っております。(7月28日~30日の3日間は作品入れ替え等のため閉展。)

(NSW州立美術館コミュニティーアンバサダー 森岡薫)

映画 CINEMA

Skeleton Twins

監督: Craig Johnson

主演: James Marsden, Kristen Wiig 他

制作: 2014、アメリカ、88分

ジャンル: ドラマ、サンダンス映画祭選

おすすめ度: ★★★★★☆



わけあって10年間疎遠になっていた二卵生双生児、男女の双子は、偶然同じ日に自殺を試みたことから寄りが戻る。長い間連絡を取り合っていなかったにもかかわらず、互いに絶望的な状況にあった二人。互いの傷を癒しながら寄り添う二人は、共有してきた育った環境の問題点を受け入れ整理することで、それぞれの新しい第一歩を踏み出して行こうと決意する。アメリカ映画とはいえインディ作品であるため、リアリティ溢れるビタースイートな作品。

書籍 BOOKS

あなたに似た人

著者: ロアルド・ダール

発行: ハヤカワ・ミステリー文庫

おすすめ度: ★★★★★★



ロアルド・ダールと言えば、良質の児童文学「チャーリーとチョコレート工場」や「マチルダ」の作者とだけ思っていたら大間違い。というか、私の場合は、子どもたちにそれらの本を読ませる以前からイギリスっぽいブラックユーモアに満ち満ちた短編作家として知っていたので、逆に児童書を書いていることを知って驚いたくらいだ。彼の書く児童書も発想の面白さと諧謔味に溢れていることはもちろんだが、私としては彼の真骨頂は本書や「キス・キス」などの大人向け短篇集に現れる、非常に洗練された残酷でドライなユーモア感覚だと思っている。しかも一遍一遍を包むなんとも言えない上品な魅力は、単に「ドライで冷酷」だけでなく、突き放した可笑しさと怖さとの微妙なバランスが保たれているから。本書はまさにダールの醍醐味が味わえる傑作短篇集。何度読んでも飽きません。

音楽 MUSIC

Ghost Stories

アーティスト: Coldplay

発売: 2014年

おすすめ度: ★★★★★★



今や世界の音楽シーンをリードするColdplay。そのニューアルバムが3年ぶりにリリースされた。新しいロックシーンを築いてきたオルタナロックの中でも彼らのサウンドは格別で、深みのある音づくりは常に素晴らしいアルバムをだしてきた。しかし今回の少ない曲数と全体を流れるしっとりとした、少し暗いムードは今までとは異なる印象だ。音づくりの深さとクオリティは変わらないものの、なぜこんな違いが出てきたのだろうか。実は最近発覚したフロントマンChris Martinの愛妻との別離があるようだ。10年の結婚生活の後、彼は終止符を打った。そんな背景から生まれたアルバムは哀しみを強く秘めたものとなっている。しかし、このアルバムは美しい。ファンが喜ぶようなアップテンポの曲はほとんどないため、世界がどのように受け止めるのか少し心配したが、ビルボードの初登場1位になった。そこには主要メンバーのギタリストJonny Bucklandの支えも大きくあるようだ。必ず聞いてほしい音楽史に残る一枚だと思う。

鑑賞 DVD

My week with Marilyn

出演: ミシェル・ウィリアムズ、ケネス・ブラナー、エディ・レッドメイン

制作: 英国BBCフィルム

アカデミー主演女優賞、アカデミー助演男優賞ノミネート。ゴールデングローブ賞主演女優賞(ミュージカル・コメディ部門)受賞。

おすすめ度: ★★★★★★



1956年初夏。名優ローレン・オリヴィエが監督・主演を務める「王子と踊り子」に抜擢され、撮影のため鳴り物入りでロンドンに渡ったマリリン・モンロー(ミシェル・ウィリアムズ)。大歓迎を受けるものの、気難しく短気なオリヴィエ(ケネス・ブラナー)とは上手くコミュニケーションが取れず、すっかり萎縮してしまう。もともと神経が細いマリリンは、不眠症に陥り睡眠薬を手放せなくなる。周囲から孤立したマリリンに貴族出身で23歳と年若い第三助監督のコリンがそっと寄り添う。彼が気分転換に連れ出した美しい英国の古城、自然とともに二人の交流が描かれる。40年間語られることがなかった、マリリンと過ごした一週間。一人の青年の目から見た女優マリリンの素顔と繊細さ、また憧れと淡い恋心を表現した心に残るとてもよい映画に仕上がっている。

●このコーナーに皆さんからの投稿をお寄せください。映画・音楽・本・DVDなど、感動した作品や、是非、皆さんに紹介したい作品…など、読者の皆様からの投稿をお待ちしています。(メールあて先: hbma@optusnet.com.au)

科学の小箱 ちよつと サイエンス

佐藤寿治



【第140回】 パラサイトへの目配り

パラサイトに対し、あまり良い印象を持つ人は少ないでしょう。他者に依存して生活を維持する、更に目に余る我が物顔で寄生する、終には主客転倒して食い尽くしてしまうことにも。鳥の世界では、カッコウ一族のように託卵(たくらん)という習性を身に付け、ホオジロやオナガといった善良なる他者の巣に卵を産み、卵を抱かせ巣立ちまでの育雛(いくすう)をさせる輩もいます。しかも居候の身である雛は、子育てをする親の実子より早く成長し、同居する子供達を巣から追い落として実の子に成りすますというから驚きです。こうした巧みな世渡りの術を見せられると、寄生が生物界での究極の生き方ではないかとも思えてきます。

枚挙に暇がない調子者が良い目を見る寄生関係から、当然ながら生態系の一角を占める人類も無関係と孤高を保持しているわけにはいきません。近年オーストラリアにおいて、肝臓に巣食う肝吸虫被害の広がりに対し警鐘が鳴らされているように、現在でも嘗てほどではないにしても寄生虫対策は、身近な問題として決してないがしろにできません。肝吸虫と同じく肝機能を著しく害するエキノコックスという寄生虫は、何と肝臓を食い尽くすと癌細胞が転移するように他臓器への移動を始めます。一方、最長の臓器である腸内には、体長数ミリの輪虫類から20~30cmの回虫、何と10mにも達する長大な真田虫まで発見されます。全体として数万種に及ぶ寄生虫の中

には、心臓や脳に入り込み危害を与える種も珍しく無く、機能障害を引き起こすうえに認知症の危険因子になるのも当然です。

寄生した宿主を死に至らしめることも避け難く、比較的短期間で終結するような劇的な関係を捕食寄生といい、この場合寄生する側は通常病原体と呼ばれます。病原体としてまず思い浮かぶのはウイルスや細菌ですが、それらに加え原虫と呼ばれる単細胞生物も寄生することで感染源となります。熱帯地方を代表する感染症であるマalariaは、血液中の赤血球にマalaria原虫が寄生することで発症します。しかも、感染源を媒介する蚊(ハマダラカ)の繁殖場所の拡張につれ、年々流行地域が拡大する傾向にあり、オーストラリアにおいても危険地域が着実に南下中。同じく蚊が媒介するウイルスにより人から人へ感染する、デング熱や日本脳炎等に対する警戒も必要です。蚊と並び、病原体とそれを受ける宿主を繋ぐ中間宿主として近年一躍注目を浴びているのがダニ類で、中でも致死率の高い新種のウイルスを媒介するマダニには、吸血されないよう防護策を講じることが肝要です。

新旧あわせたパラサイトによる危害増大の背景にあるのは、まず地球温暖化による平均気温の上昇が考えられます。気温の上がるのに合わせ、蚊やダニを初めとする吸血動物の居住地域が広がり、防備の手薄な宿主への感染が広がるのは至極容易でしょう。次に人の移動が飛躍的に増えたことで、国内と海外への旅行時における飲食物の摂取を通し、中間宿主との接触の機会も格段に増加し、思いもかけないパラサイトとの遭遇の機会も避け難くなっています。ペットとの暮らし方の変化も、パラサイトとの接触を一層密にしたのは間違いありません。ペットとの居住距離が接近したことで、本来、鳥類間の伝染病であるオウム病等に人が感染するようになりました。環境と暮らしの変化に伴う、パラサイトへの目配りも怠り無く。

お国柄あれこれ



消息不明のマレーシア航空

マレーシア航空機が消息を絶ってから早くも4カ月近くになります。当初はパイロットが関与しているとか、テロにさらわれたなどと言われていました。しかし、どの組

織からも声明は発表されず、239人もの人質を隠しておけるものでもありません。これだけ時間が経ってしまっているのだから、人知れずジャングルや無人島に着陸してサバイバル生活を送っているなんてことはもうないで

しょう。各国の必死の捜索にもかかわらずインド洋からは瓦礫ひとつ見つからないまま撤収することになりました。最近になってブラックボックスから発していると思われた音波は実は捜索中の別の船からのものだったかもしれないとお粗末な見解が発表されたり、パイロット疑惑説が再浮上したりして、いまま謎は深まるばかりです。本当に一体全体マレーシア航空機に何が起きたんでしょうか？何年かたって239人の乗客乗員を乗せたままどこからともなく飛んできたりするなんてことはSF小説の中にしかないんでしょうかね？

暮らしの医療

胃腸炎(Gastroenteritis)

ドクター・鳥居/Northbridge Family Clinic

子どもによくおこる胃腸の感染症ですが、大人でもおこります。症状は下痢と嘔吐が主ですが、腹痛、頭痛、ならびに発熱を伴うこともよくあります。

ウイルスによる感染がほとんどですが、細菌が原因となることもあります。オーストラリア、日本、アメリカなどの先進国ではほとんどは軽い病気ですみますが、医療設備が整っていなかったり衛生状況の悪い後進国では命取りとなることもよくあります。

治療

胃腸炎で最も大切なことは体内から失われた水分と電解質の補給をすることです。24時間は固形物をやめ、適切な水分だけをとって胃腸を休めます。

少し吐くようでも水分を少しずつ続けてください。この場合、毎回の摂取量を少なくし、回数を頻繁にしてください。それでも毎回吐いてしまい、水分を全く受け付けられない状態が続くようでしたら入院して点滴をする必要があります。

もし熱があればPanadolを使用し、腹痛があれば弛緩剤(Buscopanなど)を使います。下痢止めや吐き気止めなどは特に子どもには使用しないほうが賢明です。下痢止めを使用すると腸内に菌がたまってしまいますし吐き気止めは子どもに使用すると副作用が多いので薦められません。大人の場合、あまり症状がひどければこのような薬も使用します。

抗生物質の投与はほとんどの場合、必要ありません。ウイルス感染や食中毒の場合は自然にからだの

抵抗力で治まってきます。細菌感染であったとしても抗生物質を使用することはほとんどありません。特定の菌を除いては抗生物質を使ったからといって下痢が早く治まるといってもありません。

適切な飲み物

最も適切なものは薬局で市販されている電解質補給飲料です。Gastrolyte, Hydralyte, Pedialyte が代表的なものです。発泡性の錠剤、粉末、あるいは液状で売られています。Hydralyte は冷凍庫に入れておけばアイスブロックとしても使えます。このような商品は胃腸炎のときに必要な糖分と電解質がほどよく調整されています。濃度が濃すぎても薄すぎても下痢が悪化する危険があります。

もし、このような飲料を嫌って飲まない場合は炭酸の入っていないジュース(あるいは炭酸を抜いたジュース)を水で薄めてあげてください。ジュースと水は1:4の割合で薄めてください。コーデアルの場合は1:6~1:10の割合で薄めないでください。

赤ちゃんの場合母乳はとめないでそのまま続けてください。粉ミルクでしたら24時間控えてください。普段より多く水分が体外に出てしまっているのやはり薄めたジュースで補給してください。

コーヒー、紅茶、ミルク、水ははじめの24時間中は飲まないようにしてください。24時間絶食したらおかげのような消化のしやすい食べものを始め、徐々に普段の食事にもどして行って下さい。

スポーツ天国 SPORTS 第78回

地元サッカーリーグで活躍する日本人選手

この記事がお手元に届く頃も、まだまだサッカー・ワールドカップは盛り上がっていることと思います。サッカー界はブラジルに釘付けなわけですが、オーストラリア国内も熱い戦いが続いています。小野信二選手のプレーしていたAリーグを頂点にして、その下には、いろいろなリーグがあり、NSW州にはNational Premier Leaguesという州のトップリーグがあります。ここで活躍したたくさんの選手がAリーグや海外のリーグに飛び出していきます。外国籍選手は1チーム2名までという厳しい制約があるにもかかわらず、多くの日本人がプレーしており、毎週発表されるTeam of the week(ベストイレブン)にも多々選出され



ています。一度足を運んでみるのも楽しいかもしれませんね。地元サバークのチームで日本人選手がプレーしている可能性は大ですから。

詳細は、www.footballnsw.com.au/ から確認できます。

※会員の皆さんからの情報も受け付けていますので、いろいろ教えてください。よろしくお願いします。

Eメールは、kenerit@gmail.comです。(ぴか)



仏教語からできた 日本語 その106



渡部重信
hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務局長

少欲知足(しょうよくちそく)

お釈迦様御在世の時代から人間のしていることは大して代わり映えがないようでありまして、お釈迦様の説かれた四苦八苦の中に、求不得苦を説明され、人は求めるものが得られずに苦しんでいる、とおっしゃられています。

しかし、幸運にも求めるものが得られた場合にしても、次は、またその次は、と欲望が膨れていく、といったような調子で、人間の欲望には限度がありません。では、どうすれば私たちは心に平安を持って幸せに毎日を暮らすことが出来るのでしょうか？

仏教では「少欲知足(欲を少なくして足ることを知る)」が大事にされます。

お釈迦さま臨終の際の『仏遺教経』にも「知足の人は地上に臥すと雖も、なお安樂なりとす。不知足の者は、天堂に処すと雖もまた意(こころ)に称(かな)わず。不知足の者は、富めりと雖も而も貧し(足ることを知っている者は地べたに寝るような生活であっても幸せを感じている人もいます。しかし足ることを知らない者は天の宮殿の様な所に住んでいても満足はできません。足ることを知らない者はいくら裕福であっても心は貧しい)」と説かれます。

有名な良寛さんの話を紹介します。ある日、良寛さんの庵に一人の旅人がやってきて、一夜の宿を所望しました。良寛さんは旅人を温かく迎え入れ、早速足を洗うのに鍋に水を入れ運んできました。夜には夕食のカユをつくり、旅人の空腹を満たしてあげ、翌朝には旅人が顔を洗うための水を鍋に運んできました。旅人はその鍋を見て、「これは、昨夜おカユをつくっておられた鍋ではありませんか?」。「ああ、そうだよ」「すると、きのうわたしが足を洗わせてもらったのもこの鍋ですか?」「ああ、そうですよ。さあ、早く顔を洗っておくれ。この鍋で朝ガユをつくるのですから」と良寛さんはすまして答えたという話です。

良寛さんの家財といえば、たった一つの鍋だけ。しかし、私たちがようにお金がないと不幸であるとは思っていません。なくても幸せなのです。まさに「少欲」の生き方です。わたしたちも欲を少なくし、今が幸せ、満ちていると思いつける必要があります。足りていると感じるか、足りないと感じるかは、自分次第。自分の心の持ち方ひとつで、幸せにも不幸にもなれるのです。

経済優先の世の中は、「際限のない成長や進歩」を追い求め、人間の無限の可能性を引き出しているかに見えるのですが、実際は欲望の本性とも相まって止まることのない「もっと、もっと」の欲望を生み続け、いつも現状に満足しない状況を生み出しています。

仏教は、欲望に内在するこの「もっと、もっと」という本性に気づき、先ずそれを止めるために「少欲知足」ということをもって、生きる出発点としています。

「少欲知足」は、高度に発展しすぎた文明や共存ということを考えなければならぬ今こそ、自分自身や社会が真摯に受け止めるべき言葉であると信じます。皆様も是非実践して頂ければと思います。合掌

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 97

林由紀夫 (Yukio Hayashi & Associates)

今回は2011年1月1日より導入されたPaid Parental Leave Schemeについて、お話しをさせていただきます。

Paid Parental Leave Schemeとは

従業員は最大12カ月間(雇用主の同意が得られれば更に12カ月間可能)のUnpaid(無給)のParental LeaveがFair Work Act上認められていることは皆様もご承知だと思います。これに加え、一定の条件を満たしている従業員に対する援助制度として、2011年1月1日よりPaid Parental Leave Schemeが導入されました。この制度の下ではフルタイムの従業員だけでなく、パートタイム・カジュアル・自営業の方も一定の条件を満たせばこのSchemeの恩恵を受けることができます。

Paid Parental Leaveは、「Parental Leave Pay」及び「Dad and Partner Pay」に分類されています。前者では、出産或いは養子による主たる育児責任者(Primary Carer)に対して、最大で18週間援助金が支払われます。後者では、主たる育児責任者でなくとも、育児に携わる親やパートナーに対し、最大2週間援助金が支払われます。Parental Leave PayとDad and Partner Payは、併用可能ですが、二つの合計期間は最大で18週間と定められています。つまりDad and Partner Payで2週間援助金を受け取った場合、Parental Leave Payは最大で16週間となります。援助金は、国の最低賃金(National Minimum Wage)と定められており、現在の金額は1週間に\$622.10(税込み)となっています。

Paid Parental Leaveの条件

Paid Parental Leaveを受けるには、以下の条件を満たす必要があります。

- * 新生児或いは養子のPrimary Carerであること。養子の場合には、その子供が16歳未満であること。
 - * 出産や養子を取った日から遡って13カ月間に10カ月間働いていること、且つその10カ月間で最低でも330時間働いており、各就業日の間が8週間以上空いていないこと。
 - * オーストラリアに居住し、市民権・永住権・ニュージランドのパスポート保持者、又はProvisional Partner Visa, Interdependency VisaやTemporary Protection Visaのいずれかを保有していること。
 - * 出産や養子を取った直前の会計年度の収入が15万ドル以下であること
 - * Primary CarerになってからPaid Parental Leaveの期間が終わるまで働かないこと
- また、援助金を雇用主経由で支給してもらうためには、以下の条件を満たす必要があります。
- * 出産或いは養子を取る直前の12カ月以上現在の雇用主により雇用されていること。
 - * Paid Parental Leaveの期間中、従業員でいること。
 - * オーストラリアベースの従業員であること。
 - * 最低8週間のPaid Parental Payを受給予定であること。

和子の♡ 愚駄話し



【第13回】 リーテルセラピー

久しぶりにオレンジグローブのマーケットに行ってみた。裏門から入ったらすぐ横に5頭のどれも可愛い子馬達がいて、ちび孫息子はそちらに向かって突進。早速おとなしそうな子馬にまたがって木立に囲まれた校庭を一回り。都会の生活ではペットを飼える家庭環境を持たない子ども達も多いし、この子馬で1周は子どものことにはついお財布の紐が緩くなる親達を相手に、場所もマーケットと子どもの遊具の間に陣取って絶対良い商売だ。



木の下ベンチには小さな子どもを連れた家族連れ、というかお父さん達と子ども達がいる。お母さん達はマーケットで買い物に忙しいに違いないなんて思いながら、私たちも本来の目的である沢山のストールが並ぶマーケットの方へ歩いていくと、まず目についたのがATM(現金自動払出機)のノボリ。

有機野菜、ドライマンゴ、おしゃれなスカーフ、香りの良い百合の花、おいしそうなおチーズ、焼きたてパンにチョコレートタルト、ちょっと疲れたからコーヒーを一杯なんてついお買い物にのめり込んでいると持ち合わせの現金が「あら、もうない！」なんてことになるので、まあ便利ではあるけれど、お金を使わせようという魂胆が丸見え。



みかん売りのお兄さんは日本語で「美味しいよ！」と小房に分けたみかんが入ったバスケットを差し出して味見を薦める。びっくりするほど甘くてジューシー、主人もみかんが好きだし、それじゃ、ひとカゴ。

冬とはいえ日の光は強く、素敵なお帽子にも、冷たくして飲んだら美味しいだろうと思わせるサイダーにも食指が動いたけれどそこは無事に通過。



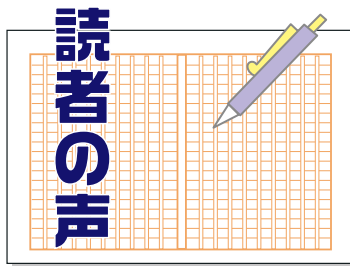
目の前の大きな鉄板でベーコンの薄切りと卵を焼いてロールパンに挟んでくれる、人気のベーコンエッグロール屋さんの長い行列に並んで、横を行き来する買い物客でいっぱいのマーケットを考える。確かに新鮮で美味しいものや手作りのアクセサリなどいろいろあるけれど、それにしてもどうしてこんなにたくさんの人が集まるのかしら。



車で5分ほど離れたところにあるローゼルのマーケットはこんなガラクタ誰が買うの? というような物も扱う昔ながらのマーケット。マリックビルのマーケットはまた雰囲気違って村の市場といったふう。それらに比べるとオレンジグローブのマーケットは結構おしゃれだ。そんなマーケットがあちらこちらにあって、それぞれ人がいっぱい、これってファッションなのかしら。それとも常設のショッピングセンターだけでは「リーテルセラピー」(retail therapy)の必要な人達を処理しきれないってことかしら?

ところで、最近良く耳にするこのリーテルセラピーという表現は買い物をするという行為でストレスを発散し、気分を良くする・精神の安定を図るということ。無駄使いを正当化できるちょっとしゃれた言い方だ。年代のせいかもしれないけれど、無駄使いはいけないことだと教えられて育って来ているので、必要ではないのに、ただ欲しいというだけで物を買ってしまうと、その度に罪悪感がちょっとある。あんまり我慢ばかりしていてもつまらないし、これからはリーテルセラピーよ! と、大きな顔をして言うことにする。

7月12日の土曜日にはオーバンで恒例のJCSフェイトがあります。ソーセージズル、たこ焼きはもちろん、美味しいお寿司やおにぎり、ケーキをはじめ、子ども服、アクセサリ、掘り出し物もたくさんありますよ。皆さんもぜひリーテルセラピーを体験してみてください。



読者の皆さんの感想をお待ちしています。お気軽にメール下さい。

▶ hbma@optusnet.com.au

電子版を利用しています

活字中毒の私にとっては、毎月本誌を読むのは楽しみのひとつです。毎月、毎月、様々なコラム記事が掲載されていて、ほかの日本語情報誌にない魅力があります。本誌に記事を書いている方、編集をされている方、本当にご苦労様です。また、本誌はカラー印刷ではないので、掲載写真はすべて白黒なのですが、JCSのウェブサイトから本誌の電子版がダウンロードできるので、表紙の絵とか、気になる写真は電子版で確認しています。やはりカラーで見るとその記事の魅力が更に増しますね。ところで、掲載記事によってはその記事の問い合わせ先とか、参照ウェブサイトのアドレスが載っていることがありますが、印刷物の場合はクリックしてリンク先に飛ぶというわけにはいきませんが、PDFデータではそれが可能です。本誌の電子版もそのようにリンク先を参照したりできるので、大変便利で役立っています。これからも内容の濃い情報誌を届けてください。(游)

編集後記

▼シドニー及びその近辺の家やアパートの値段が、いま異常に急騰している。Chatswoodの2 Bed Room & 2 Bath Roomのアパートが80万ドルというのは、普通とは思えない。不動産急騰の理由が低金利を背景とする投資家(既に不動産を持っている人たち)による買いあさりが必要な原因であると聞いている。私が30数年前に初めてEastern Suburbsで買った家の値段は16万ドルであった。その時の私の給料は確か5万ドルくらであった。今の若い人はマイホームを持つ夢すら持つことができないであろう。因みに、日本で4000万円も出せば、相当良い都心に近いマンションが買える。(林)

シドニー日本クラブ2013/14 & 2014/15年度役員一覧

役職	氏名	担当/専門委員会	電話(自宅)	電話(会社)	携帯電話	E-mail
名誉会長	高岡 正人	在シドニー日本総領事	-	-	-	-
相談役	水野 亮三		-	-	0422-853-456	roymizuno@hotmail.com
会長	Chalker 和子		9810-6735	-	0404-043-393	kazukoch9@gmail.com
副会長	水越 有史郎	教育・福祉	9358-3269	9252-6307	0412-283-393	miz@jams.tv
副会長	岩佐 いずみ	事務・行事	9412-3434		0421-776-052	jcs@japanclubofsydney.org
理事	渡部 重信	編集長	8901-4332	8901-4334	0412-396-014	hbma@optusnet.com.au
理事	Costello 久恵	教育支援委員会	-	-	0423-976-035	jcs.daihyo@hotmail.com
理事	山田 朝子	教育支援委員会	-	-	0416-531-806	rikukohmei@tpg.com.au
理事	唐原 晶子	事務局長	-		0421-776-052	jcs@japanclubofsydney.org
理事	新開 珠貴	行事	9439-0095	-	0409-255-474	shinkai_t.au@jtbap.com
理事	多田 将祐	行事	8807-4795	-	0404-187-579	kenerit@gmail.com
理事	平野 由紀子	行事	-	-	0414-758-295	yukikosal@yahoo.co.jp
専門理事	林 さゆり	親睦の会会長	-	-	0412-019-878	shayashi@global-promotions.com.au
専門理事	Fraser 悦子	コミュニティーネット	8920-1764	-	0408-643-420	etsuko@mediaetsuko.com
専門理事	Joannes えみ	City校代表	-	-	0407-461-618	jcs-jpschcity@hotmail.com
専門理事	Calder 陽子	Dundas校代表	-	-	0411-734-819	jcs-jpschdundas@live.com
監事	Richter 幸子	会計監査	9972-7890	9452-2671	0414-667-438	richjms@bigpond.net.au
監事	八郷 泉	会計監査	-	9335-8913	-	ihachigo@kpmg.com.au

JCS傘下グループ・団体	代表・担当者	携帯電話	Email
親睦の会	林 さゆり	0412-019-878	shayashi@global-promotions.com.au
コミュニティーネット	Lincoln 瑞枝	0449-581-683	mizue44@hotmail.com
シドニーソーラン踊り隊	Chalker 和子	0404-043-393	kazukoch9@gmail.com
ソフトボール部	加藤 雅彦	0402-011-198	ckato@nmpa.com.au
レインボープロジェクト	平野 由紀子	0414-758-295	yukikosal@yahoo.co.jp
編集委員会	渡部 重信	0412-396-014	hbma@optusnet.com.au

エーブルネット PTY LTD

Suite 30, Level 17, 327 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: 02-8002-3773

Email: info@able.net.au www.able.net.au

☆オプタスプリペイドをご利用のみなさんへ朗報☆

- 1.オプタスからの番号がそのまま使える!
- 2.プランは\$5~\$149までと豊富!
- 3.無料通話は基本料金に対して2~4倍ついてくる!

★オプタス:基本料金\$30→無料通話\$30★

☆エーブルネット:基本料金\$29→無料通話\$90☆

2人以上のレンタルでいつでも10分ごとの通話が無料!

ジャパンナビゲーター

Phone: (02) 8064-1141 (担当:理香)

Fax: (02) 8079-6641 Email: info@japannavi.com.au

www.japannavi.com.au/jp

JCS会員の皆様には常にベストディールを提供させていただきます。

http://twitter.com/Japan_navi にて格安料金情報を毎日更新しておりますので、是非一度ご覧ください。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

13,000冊の日本のコミックと、日本から発行翌日に届く最新雑誌各種が読み放題!息抜きに、お待ち合わせまでの空き時間に、お子様の日本語のお勉強にも…。

シティの真ん中の癒し空間、ほんだらけ『マンガルーム』を是非ご利用ください!こちらのJCSクーポンをご持参いただくと、マンガルームを30分無料でご利用いただけます。(1枚に付き大人1名+子供2名まで利用可)

ジョイネット・インターナショナル

Shop 4, 325 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4002

Email: info@joinet.info www.joinet.com.au

『お世話になったあの人へ、心をこめた日本の電報を送りませんか』

KDDIが提供する日本への電報サービスを、JCS会員様には10%OFFにてご利用いただいております。お花や速達などのオプションもご用意しております。

JTTディスカウント日本食販売

Phone: (02) 9317-2500 (担当:大内)

Fax: (02) 9669-1988

Email: info@jtt.com.au www.jtt.com.au

お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%割引とさせていただきます。

\$200以上のお買い物の場合は無料配達サービスを行っています。(※配送可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519

お肌の大敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか?

きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。

★JCS会員特典:初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント!お気軽にご連絡下さい。

NBCA PTY LTD

Suite 1001, Level 10, 307 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 8999-2440 Fax: (02) 9261-0252

担当:人材(高橋)、ビザ(山口)、留学(上田)

Email: info@nbca.com.au www.nbca.com.au

ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみ通常の料金から10%の割引にさせていただきます。留学につきましては、JCS会員のみ通常料金から特別割引させていただきます。(学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au

www.soramame.com.au

Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

プラネットヘア(日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4881

JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。また、平日2時までに2人以上でご来店の場合20%Off(カットは15%Off)

日本の器具、商品を使用していますので、安心してご来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jpを見てください。

鳥居税務会計事務所

Suite 202, Level 2, 60 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9241-3216 (担当:鳥居)

E-mail: sysougou@oz-japan.net

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。

同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057、電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(唐原晶子)まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、編集長の渡部重信(Email:hbma@optusnet.com.au)
または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えてJCS事務局までご返送ください。入会申込書はサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 の合計 \$103 (GST 含む) 相当の小切手かマネーオーダーを添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) です。
- ②ボランティアによる運営のため、事務処理に多少時間がかかる場合があります。会報「JCSだより」(月刊)の送付まで最高2ヵ月を目処として下さい。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1)Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33 plus the annual membership fee \$70, total \$103 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2)The Club is run by volunteers, who will process your application. Please note that it could take up to 2 months before you receive our monthly newsletter for the first time.
- (3)Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address.
- (4)Please note that both the admission fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内と申込書

広告締切は毎月15日です。広告(完全版下)と小切手(前払い)を、PO Box 1690, Chatswood NSW 2057までお送りください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横17cm×縦25.5cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2 ページ	横17cm×縦12.5cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3 ページ	横17cm×縦8.2cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6 ページ	横8.2cm×縦8.2cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)
折り込みチラシ	A 4 サイズ以内	\$ 440.00	\$ 330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引あり。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(サイズを守り、読みやすくはっきりと仕上がったアートワーク)を、小切手(宛名は、Japan Club of Sydney)と共に事務局宛(PO Box 1690, Chatswood NSW 2057)お送りください。全額前払いをお願いしています。締切は毎月15日必着です。

※折り込みチラシは、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。(現在の部数は約400部です)

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

● JCSだより広告申込書 ●

広告スペース 1 ページ 1 / 2 1 / 3 1 / 6 折り込みチラシ

料 金 \$ _____ (\$ _____ × _____ 回)

期 間 20__年__月号のみ 20__年__月号 ~ 20__年__月号まで__回

会社名 _____ 担当者 _____

住 所 _____

電 話 _____ FAX _____ Email _____